



**(2) 事業内容**

CADソフトの保守

令和6年度のシステム保守として「CADソフトの保守委託業務」を委託する。

**(3) 県負担・補助率の考え方**

建設工事発注において使用するものであり、所要経費は県負担となる。

**(4) 類似事業の有無**

無

**3 事業費の積算 内訳**

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,417	CADソフトの保守委託
合計	2,417	

**決定額の考え方**

--

**4 参考事項**

**(1) 各種計画での位置づけ**

岐阜県建設CALS／ECアクションプログラム。

**(2) 国・他県の状況**

国・他県でCADソフトを使用している。

**(3) 後年度の財政負担**

① 今後の方針

業務の効率化を継続的に推進していくために今後もCADソフトは必要である。現在のCADソフトのライセンスは買い取っているが、運用保守(※)を継続すれば、引き続き利用ができる。今後、現在のCADソフトのサポートが切れるまでは、継続して利用をする。

※運用保守について

ライセンスはネット認証方式であり、各職員用PCからシステム共通基盤にアクセスして認証しCADを起動している。この仕組みが安定的に行われるように、運用保守を委託する。

② 後年度の財政負担

後年度も引き続きCADソフトの運用保守費用が必要である。また、ソフトを更新する場合は購入費も必要となる。

**(4) 事業主体及びその妥当性**

建設工事発注において使用するものであり、県が主体となって行うべきものである。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
職員が利用するCADソフトの運用保守を行う。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

CADソフトの運用保守であり、特に指標となる数値はない。

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	新規採用者などに対しCADソフトの基本操作研修を実施（40人）。 CADを利用することで、事務の簡素化、業者とのデータの收受省力化など成果は上がっている。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	建設研究センター主催でCADの操作研修が実施された。 CADを利用することで、受注者とデータによる收受が可能となり、業務上の協議の効率化が図られた。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	建設研究センター主催でCADの操作研修が実施された。 CADを利用することで、受注者とデータによる收受が可能となり、業務上の協議の効率化が図られた。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 2	CADソフトは全ての都道府県で利用されている。建設工事発注において、CAD図面による電子仕様書の作成が必要であり、CADソフトの利用は不可欠である。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) 2	CADを利用することで、事務の簡素化、業者とのデータの収受省力化など成果は上がっている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</li> </ul>	
(評価) 1	CADを利用することで、事務の簡素化、業者とのデータの収受省力化など効率化が図られている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 今後ICT工事の増加に伴い、3次元CADなど必要な機能を検討し、ソフトの更新を計画する必要がある。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 建設工事発注においてCADソフトは不可欠あり、今後も継続して利用していく。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課		【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など		